

経営学部 経営学科  
文 郷美 (ムンヒャンミ)

こんにちは。韓国からきた文郷美 (ムンヒャンミ) と申します。

2012年4月、日本の経済やマーケティングについて学ぶために、韓国の高校から中部学院大学に入学しました。入学する前に、「せっかくの留学のチャンスだから、お金や時間を無駄にしないよう有益な大学生活を過ごそう」と決意し、早く日本に行きたいという期待で胸が一杯でした。

大学へ入学してから、韓国人留学生の先輩は誰もいないと分かって、「大学に適応できず、友達もできなかったらどうしよう」と非常に不安でした。しかし、大学の先生から一人の中国人留学生を紹介してもらい、彼女のおかげで新しい環境もすぐに馴染むことができました。今、彼女はかけがえの無い親友となりました。

日本での留学生活は、早くも2年間で過ぎました。この2年間に本当に色々なことがありました。関市役所の主催で開催された「外国人交流会」に参加し、多くの友人を作ることができました。また、本学の留学生遠足に参加し、京都の清水寺・金閣寺や三重県の伊勢神宮などを見学し、日本の素晴らしい伝統文化を自分の目で見たり、直接触れ合うことができました。

中でも私が一番印象に残っていることは、去年11月2日各務原キャンパスの大学祭「学びの森フェスティバル」に参加したことです。私たちのゼミは、小人数でチーム分けをしました。各チームで自分の店を作り、自慢の商品を販売しました。私たちのチームは、話し合った結果、手作りチヂミとゆず茶を販売することになりました。商品の仕入れや販売方法などについて事前に話し合い、作る人と販売する人など細かい分担まで計画を立てました。みんなで協力して学びの森フェスティバルの準備をしました。そして、当日は料理を作る人、チヂミを売る人、それぞれ計画どおりに、スムーズに進みました。売り上げを少しでも上げるため、みんなで力を合わせて努力しました。経営学科で経営を学んでいる私たちは、店の企画から、製造、販売、利益分配まで一連の経営活動を計画的に実践しました。今回のことは、みんなにとっても初めての体験で不安な面もありましたが、とても楽しく、将来自分の会社経営に役に立つことと思います。

私の留学生活は、これまで経験しなかった新しいことが毎日のように起こっています。この中で、日本人の学生のみならず、中国の友達もたくさんできたということが何よりよかったです。残りの2年間も積極的に行動し、もっともっと日本のことを学び、後悔のない留学生活にしたいと思います。